

時代を創ろう ～八幡台が、今熱い～

中高生ともに北辰祭(第56回 体育祭・文化祭)に燃える



楽しかった北辰フェスタ

第五十六回 体育祭

第五十六回体育祭は九月五日(日)本校グラウンドで開催された。当日は、曇り空で、あまり暑くない絶好の体育祭日和となった。八時四十五分プロムナード開始。今年は三番編制となり各組とも人数が多く、堂々とした行進であった。校旗も中学・高校と本でタイムと称する休憩が三十分ほどあり、例年と少し趣の違う体育祭となった。

一時間の昼休みを挟んで午後の部に入った。午後の部の目玉は、各班十分の北辰フェスタで、ダンスあり、組体操ありとそれぞれ



発行所 佐世保市八幡町6-31
〒857-0028 佐世保北高等学校
編集人 佐世保北高新聞編集部
印刷所 北高新聞印刷部

2面
・第56代生徒会長選出
・C棟完成

3面
・県・地区新人大会始まる
・電撃インタビュー

4面
・飛び出せ北高
・新聞部より

総合優勝 赤組



負けてなるものか

三年一組・三組 七組
二年六組・七組
一年三組・六組
中学 一年一組
総合優勝は赤組、黄色組の争いとなったが、午前の団体競技で優位に立った赤組が逃げ切った。

「ま体験学習」のビデオ、春の動物園等々内容が豊富で見応えのある作品だった。

一組は「観光 佐世保再発見」班別に佐世保観光地を訪ね、その調査表をしていた。三組は「空を征つ」空を征つという自由研究も力作揃いで、見応えのある内容であった。高橋先生のクラス発表は「祭」を協議した内容が多く、二、三組が例年より多く、三組「青春物語」、五組「目黒の奇妙な物語」、六組「ビーチマン」の二本が上演された。それぞれオリジナルの作品で苦労があった

吹奏楽部北辰祭で中学生19名がデビュー

佐世保北で、番部員の多い部活動は吹奏楽部である。高校生五十一名、中学生十九名合計七十名の大部隊である。八月末C棟が完成し、四階に音楽室、器具室練習室ができた。やっと本来の活動ができるようになった。吹奏楽部は本校の有数の部活動で、何十年も県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し続けて、たびたび九州大会にも出場した。

その吹奏楽部、新しい歴史が始まった。今後、中学生入学以来六年間活動する生徒が現れ、技術的にも大きく飛躍するものと期待される。その一回目の中学生が北辰祭の演奏に登場した。来年、再来年と部員が増えるにつれて、各種の行事やコンクールで大迫力の見事な音色を提供してくれるものと期待する。

70名の大迫力

盛況であったし、二年組「燃えろもうら」二年四組「そはめし」二年五組「フランクフルト」の食物パザールは長い行列が、昼過ぎには完売するという人気であった。ビデオ作品も、一年二組、一年七組、二年一組、二年三組と多かったです。お客さんを集めた。高校の年生は劇に挑戦するクラスが例年より多く、三組「青春物語」、五組「目黒の奇妙な物語」、六組「ビーチマン」の二本が上演された。それぞれオリジナルの作品で苦労があった

☆体育祭まであと二日となったとき、〇組は全く長縄を練習していなくてすくあせていた。なので放課後、できる人だけで練習して、先輩がアドバイスをしながら来てくれた。なかなかみんなやる気にならなかった。帰って行くメンバー……と高校生が入ってきて、一組に……。なんてやきやき……。とか思いつつ……。私、当日、なんと中学生たちが優勝できた。先輩たちもよここんでくれた。すくうれしかった。

☆体育祭で一番楽しかったのは、北辰フェスタでした。練習の時は知らなかった演目があり、みんなとても楽しかった。わたしの母はベシマンがとても気に入った。

☆体育祭で一番楽しかったのは、北辰フェスタでした。練習の時は知らなかった演目があり、みんなとても楽しかった。わたしの母はベシマンがとても気に入った。

北辰祭を終えての感想 (北中生、私の思いより)

記念写真をとればよかったことか……。自分の中では青組が一番好きだった。自分の中では青組が一番好きだった。自分の中では青組が一番好きだった。

最近よく、日本に生まれながらに、日本に生まれながらに、日本に生まれながらに……

最近よく、日本に生まれながらに、日本に生まれながらに、日本に生まれながらに……

70名の大迫力

吹奏楽部北辰祭で中学生19名がデビュー

佐世保北で、番部員の多い部活動は吹奏楽部である。高校生五十一名、中学生十九名合計七十名の大部隊である。八月末C棟が完成し、四階に音楽室、器具室練習室ができた。やっと本来の活動ができるようになった。吹奏楽部は本校の有数の部活動で、何十年も県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し続けて、たびたび九州大会にも出場した。

その吹奏楽部、新しい歴史が始まった。今後、中学生入学以来六年間活動する生徒が現れ、技術的にも大きく飛躍するものと期待される。その一回目の中学生が北辰祭の演奏に登場した。来年、再来年と部員が増えるにつれて、各種の行事やコンクールで大迫力の見事な音色を提供してくれるものと期待する。

